

認 定 書

国 住 指 第 4 2 号
令 和 元 年 5 月 7 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0956
2. 認定をした構造方法等の名称
エチレン酢酸ビニル樹脂系壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

エチレン酢酸ビニル樹脂系壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様、又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	5.0 \pm 0.5以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	555.0 \pm 55.5以下

3. 材料構成

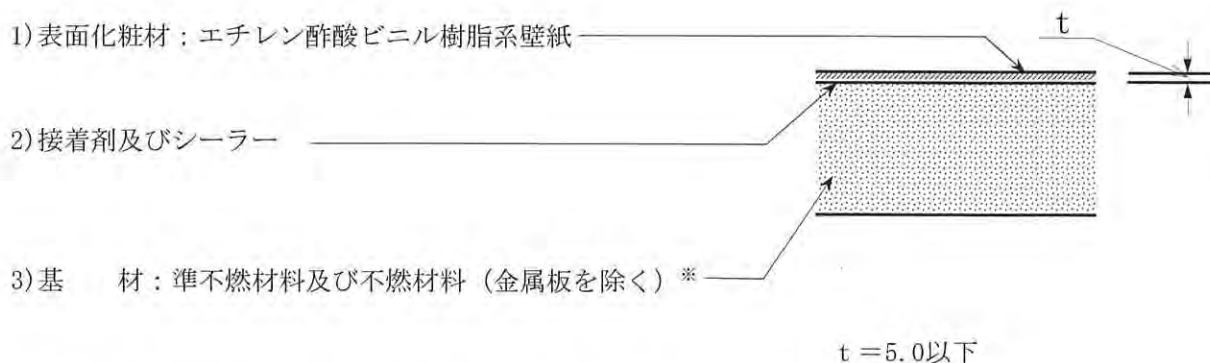
項 目	仕 様
表 面 化 粧 材	<p>エチレン酢酸ビニル樹脂系壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ5.0\pm0.5mm以下 ・ 質量555.0\pm55.5g/m²以下(有機質量206.3\pm20.6g/m²以下) ・ 構成 <ul style="list-style-type: none"> [1]表面化粧 <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量60.0\pm6.0 g/m²(固形量)以下(有機質量16.0\pm1.6g/m²以下) ・ 構成(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は(1)と(2)の組合せとする <ul style="list-style-type: none"> (1)合成樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量60.0\pm6.0g/m²(固形量)以下(有機質量16.0\pm1.6g/m²以下) ・ 構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂※116.0\pm1.6以下 (但し、ポリエステル系は14.1\pm1.4以下とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料※60～29.0\pm2.9 無機質系材料※70～59.0\pm5.9 無機質系添加剤※20～29.0\pm2.9 (2)印刷インキ <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量30.0\pm3.0g/m²(固形量)以下(有機質量16.0\pm1.6g/m²以下) ・ 構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂インキ※316.0\pm1.6以下 無機質系充てん材、無機質系顔料※60～29.0\pm2.9 無機質系添加剤※20～29.0\pm2.9 (3)なし

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[2]主素材:エチレン酢酸ビニル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ$2.8_{\pm 0.3}$mm以下 ・質量$345.0_{\pm 34.5}$g/m²以下※⁴ (有機質量$90.3_{\pm 9.0}$g/m²以下※⁵) ・構成(g/m²) ※⁴ <ul style="list-style-type: none"> エチレン酢酸ビニル系樹脂 ……$71.3_{\pm 7.1}$以下 (但し、アクリル系樹脂を併用する場合はエチレン酢酸ビニル系樹脂とアクリル系樹脂の合計値は、$71.3_{\pm 7.1}$以下とする) アクリル系樹脂 …… $0\sim 14.1_{\pm 1.4}$ 無機質系充てん材、無機質系顔料※⁶ …… $20.0_{\pm 2.0}$以上 有機質系発泡剤(炭化水素内包カプセル発泡剤) …… $0\sim 10.4_{\pm 1.0}$ 有機質系顔料※⁸ …… $0\sim 3.6_{\pm 0.4}$ 有機質系添加剤(防かび剤、増粘剤、抗菌剤、機能性付加剤等) …… $5.0_{\pm 0.5}$以下 <p>[3]裏打材※⁹:裏打紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下 ・質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$100.0_{\pm 10.0}$g/m²以下) ・構成(g/m²) 1)又は1)と2)を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)有機質 ①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①有機繊維※¹⁰ ……$100.0_{\pm 10.0}$以下 (但し、合成樹脂系繊維※¹¹とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維※¹¹$24.0_{\pm 2.4}$以下とし、かつ有機質量を$80.0_{\pm 8.0}$以下とする。) ②合成樹脂※¹ ……$13.6_{\pm 1.4}$以下 有機繊維※¹⁰ ……$72.0_{\pm 7.2}$以下 (但し、合成樹脂※¹を使用する場合、有機質量を$73.0_{\pm 7.3}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維※¹¹とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維※¹¹は$1.0_{\pm 0.1}\sim 26.2_{\pm 2.6}$とする。) 2)無機質 ①、②のうち、いずれか一仕様又は組合せとする <ul style="list-style-type: none"> ①無機質系充てん材※⁶ ……$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②無機質系繊維※¹² ……$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>※1:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコーン系、ポリエステル系、フッ素系、マレイン酸系のいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※2:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能性材料のいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※3:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレングリコール系のいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※4:質量及び構成は、加工時に発泡剤、添加剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※5:有機質量は、加工時に発泡剤、添加剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※6:無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、ホウ酸亜鉛、シリカ、金属粉(アルミニウム)、鉍微粒及び鉍物粉のいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※7:無機質系材料は、シリカ、ひる石、ゼオライト、けい藻土、マイカ、ガラス、クレー、炭酸カルシウム、セラミック、アルミニウム、錫、銅、亜鉛、鉄、銀、白金、金のいずれか一仕様、又は組合せとする。形状は、粉体、粒子、はく、シート、糸状のいずれか一仕様とする。</p> <p>※8:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※9:裏打材は、紙、無機質紙、不織布(non wovenpaper)のいずれか一仕様とする。</p> <p>※10:有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、スフ、キュブラ、アセテート、セルロース系繊維、合成樹脂系繊維^{※11}のいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※11:合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビリニデン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、アクリル、ポリウレタン、ポリビニリアルコールのいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※12:無機質系繊維は、金属繊維、ガラス繊維、炭素繊維のいずれか一仕様、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ・質量$60\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>・構成 [1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]でん粉系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$60_{\pm 6}\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g}/\text{m}^2$以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のり …………… $80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※13} …………… $20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし) <p>[2]シーラー：合成樹脂^{※14}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$10_{\pm 1}\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g}/\text{m}^2$以下) </div> </div> <p>2) ・質量$40_{\pm 4}\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>・構成 [1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]メチルセルロース系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$40_{\pm 4}\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g}/\text{m}^2$以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> メチルセルロース …………… $80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※13} …………… $20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし) <p>[2]シーラー：合成樹脂^{※14}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$10_{\pm 1}\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g}/\text{m}^2$以下) </div> </div> <p>※13：補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※14：合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか一仕様、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く）</p> <p>平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料及び告示1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

4. 構造説明図(寸法単位：mm)



※平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料及び告示1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの